

〈学校教育目標〉
じりつする
子供の育成

学校だより



平成30年度 11月号 11月26日

学習参観、学校保健委員会、PTA環境整備作業、遊休品即売会、ありがとうございました



遊休品即売会

日ごとに気温が下がり、辺りの冷気が身に凍みるようになってきました。グラウンドに凜として立ち、子供たちの活動を見守り続けている銀杏の木も黄色い葉を落とし始め、冬の到来を感じる季節となりました。

10月27日(土)に学習参観等を行ったところ、たくさんの保護者の皆様にご出席いただき、ありがとうございました。PTA環境整備作業では、日頃手の届かない高窓やベランダ、屋上の清掃作業を行っていただきました。お陰様で子供たちは気持ちのよい環境の中で学習活動に取り組んでいます。また、例年恒例になっている遊休品即売会では、PTAや地域の皆様のご協力により、たくさんの収益をあげさせていただきました。どうも、ありがとうございました。

入善町小学生体力向上支援事業

オリンピックによる「陸上運動教室」

10月25日(木)にひばり野小学校、桃李小学校、入善小学校の5年生を対象に「陸上運動教室」を本校の体育館で開催しました。講師は、2008年北京オリンピック 陸上4×100mリレー銅メダリストの高平 慎士さんでした。前半は、高平さんご自身の陸上競技に関する経験を話題の中心にしながら夢や具体的な目標をもって学校生活を送ることの大切さについてお話をいただきました。後半は、体育館を使っているいろいろな「走り方」について実技指導をしていただきました。



高平 慎士氏による「陸上運動教室」

意外にも実技指導の大部分はやってはいけない「走り方」の練習でした。あまり経験のないバランスのよくない「走り方」に対して子供たちは、真剣に取り組んでいました。これは、敢えて間違った「走り方」を体験することでリズムカルでバランスのよい「走り方」のよさを体感させることがねらいということでした。

わずかな時間ではありましたが、高平さんというオリンピックから直接、お話を聞いたり、実技指導を受けたりするなど、子供たちは、貴重な経験をすることができました。本物に触れることで、走ることの楽しさ及び夢や目標をもって生活することの大切さを学んでくれたのではないかと思います。

地震・津波を想定しての避難訓練

5日(月)に今年度2回目の避難訓練を行いました。今回は、地震の発生とともに10分後に津波が来るという想定で避難経路をもとに屋上へ避難するという方法で取り組みました。



地震・津波対応避難訓練

まず、地震発生とともに子供たちは、机の下に身を伏せ、しっかりと安全確保をし、次に、津波が来るという緊急放送を聞き、**①おさない・②しらない・③しゃべらない・④どらない**の約束をしっかりと守りながら、迅速に



机の下に身を伏せる子供たち

屋上へ避難することができました。火災と同様、地震や津波は、いつ、どこで、起こるか分かりません。避難訓練は、子供たちの命を守るための大切な練習です。これからも万が一に備え、いざというときに正しく避難ができるように努めたいと思います。